

期活性化反応に及ぼす影響．第46回日本宇宙航空環境医学会総会，2000，東京．

- 2) 寺田信幸，若林園恵，嶋宮民安，堀内城司：自由行動下猫の血圧調節系におよぼす光環境の影響．第46回日本宇宙航空環境医学会総会，2000，東京．
- 3) 嶋宮民安，若林園恵，堀内城司，榎木暢雄，毛利元彦：リンパ球 CD 69 遺伝子発現に対する閉鎖隔離環境の影響．日本宇宙生物科学会第14回大会，2000，福島．
- 4) 寺田信幸，若林園恵，嶋宮民安，堀内城司：血圧調節系におよぼす光環境の影響．日本宇宙生物科学会第14回大会，2000，福島．
- 5) 嶋宮民安，寺田信幸，堀内城司，榎木暢雄，毛利元彦：リンパ球初期活性化反応におよぼす閉鎖・隔離環境の影響．第77回日本生理学会，2000，横浜市．
- 6) 寺田信幸，若林園恵，嶋宮民安，堀内城司：自由行動下猫の動脈圧変動におよぼす光環境の影響．第77回日本生理学会大会，2000，横浜市．

動物実験施設

Institute for Experimental Animals

学 術 論 文

Research Papers

- 1) Ichiro TAKAYAMA, Eri SETO, Hiroaki ZAI, Shinichi OHNO, Hideo TEZUKA, Yataro DAIGO, Masayuki A. FUJINO (2000) Changes of In Vivo gastrointestinal motor pattern in pacemaker-deficient (WsRC-Ws/Ws) rats. DIGESTIVE DISEASES AND SCIENCES, 45 (10):1901 1906

学 会 発 表

Presentations at Congresses

- 1) 手塚英夫，王 培玉，ガンマダバサブ，秦立強，王 原，金子 誉，佐藤章夫：低糖質食摂取による耐糖能悪化に関する遺伝要因解析の試み．日本獣医学会，2000，つくば．

検 査 部

Central Clinical Laboratory

学 術 論 文

Research Papers

- 1) Yatomi Y, Ohmori T, Rile G, Kazama F,

Okamoto H, Sano T, Satoh K, Kume S, Tigyi G, Igarashi Y, Ozaki Y (2000) Sphingosine 1-phosphate as a major bioactive lysophospholipid that is released from platelets and interacts with endothelial cells. BLOOD, 96(10): 3431 3438

- 2) Asazuma N, Wilde J, Berlanga O, Leduc M, Leo A, Schweighoffer E, Tybulewicz V, Bon C, Liu S, McGlade J, Schraven B, Watson S (2000) Interaction of linker for activation of T cells with multiple adapter proteins in platelets activated by the glycoprotein VI-selective ligand, convulxin. JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY, 275(43):33427 33434
- 3) Qi R, Liao F, Inoue K, Yatomi Y, Satoh K, Ozaki Y (2000) Inhibition by diallyl trisulfide, a garlic component, of intracellular Ca²⁺ mobilization without affecting inositol-1,4,5-trisphosphate (IP₃) formation in activated platelets. BIOCHEMICAL PHARMACOLOGY, 60:1475 1483
- 4) Satoh K, Asazuma N, Yatomi Y, Fujimura Y, Miura S, Titani K, Ozaki Y (2000) Activation of protein-tyrosine kinase pathways in human platelets stimulated with the A1 domain of von Willebrand factor. PLATELETS, 11(3): 171 176
- 5) Ohmori T, Yatomi Y, Asazuma N, Satoh K, Ozaki Y (2000) Involvement of proline-rich tyrosine kinase 2 in platelet activation: tyrosine phosphorylation mostly dependent on α IIb β 3 integrin and protein kinase C, translocation to the cytoskeleton and association with Shc through Grb2. BIOCHEMICAL JOURNAL, 347:561 569
- 6) Endo T, Yatomi Y, Amemiya N, Mizoe A, Iino M, Ozawa H, Hosogaya S, Ozaki Y (2000) Antibody studies of factor VIII inhibitor in a case with Waldenstrom's macroglobulinemia. AMERICAN JOURNAL OF HEMATOLOGY, 63:145 148
- 7) 吉本 茂，細萱茂実，多田正人，石田繁則，青木義政，中 恵一 (2000) NCCLS 勧告案を用いた検出限界提示法に対する CRP 定量法での実験例．臨床化学，29:184 191

- 8) 長田 誠, 坂本美穂子, 遠藤真澄, 細萱茂実, 尾崎由基男, 中島育昌 (2000) 抗ガラクトース欠損 IgG 抗体測定法の基礎的および臨床的検討. 日本臨床検査自動化学会会誌, 25:90 194
- 9) 長田 誠, 坂本美穂子, 遠藤真澄, 細萱茂実, 尾崎由基男, 赤羽賢浩 (2000) C 型慢性肝疾患における HCV 関連抗体, HCV core 蛋白の動態. 医学検査, 49:908 912
- 10) 加藤良平, 小宮山明, 中澤久美子, 石井喜雄, 弓納持勉 (2000) 新技術・周辺領域技術の応用と展開 新しい免疫染色抗体. 臨床検査, 1418 1422
- 11) 細萱茂実, 尾崎由基男 (2000) 臨床検査システムの効率的精度保証. 日本臨床検査自動化学会会誌, 25:148 152

著書 (分担執筆, 著者, 編者等)

Books

- 1) 雨宮憲彦, 尾崎由基男 (2000) 検査値のみかた(中井利昭編), 改訂2版. IV 血液学検査 .192 .プロテイン C, プロテイン S, , 713 715

総説

Review Articles

- 1) Ozaki Y, Qi R, Satoh K, Asazuma N, Yatomi Y (2000) Platelet activation mediated through membrane glycoproteins: involvement of tyrosine kinases. SEMINARS IN THROMBOSIS AND HEMOSTASIS, 26(1):47 51
- 2) 細萱茂実 (2000) 研究のデザインとデータ解析. 検査と技術, 28:1543 1546
- 3) 内藤勝人 (2000) 各種肝炎マーカー自動測定機器の種類と問題点. 検査と技術, 1552 1554
- 4) 細萱茂実 (2000) 臨床的有用性の評価 疾患に対する感度・特異度・予測値. 検査と技術, 28:1457 1460
- 5) 細萱茂実 (2000) 統計的立場から見た基準範囲の設定. 検査と技術, 28:1361 1365
- 6) 細萱茂実 (2000) 生理的個体間・個体内変動の大きさの推定. 検査と技術, 28:1275 1278
- 7) 細萱茂実 (2000) 個別データの管理と統計手法. 検査と技術, 28:1169 1172
- 8) 細萱茂実 (2000) 変動要因分析. 臨床病理レビュー特集第113号. 臨床検査情報学, 26 33
- 9) 細萱茂実 (2000) 管理図法の原理と活用法. 検査と技術, 28:1077 1082

- 10) 佐藤金夫, 雨宮憲彦, 尾崎由基男 (2000) EDTA 塩加血液における偽性血小板減少症. 検査と技術, 1049 1051
- 11) 細萱茂実 (2000) 測定誤差の分類と測定値の統計学的扱い. 検査と技術, 28:559 562
- 12) 細萱茂実 (2000) 外部精度評価のデータ解析. 検査と技術, 28:477 482
- 13) 細萱茂実 (2000) 患者試料を用いた分析法間比較による正確さの評価. 検査と技術, 28:395 399
- 14) 細萱茂実 (2000) 標準物質を用いた正確さの評価. 検査と技術, 28:289 292
- 15) 細萱茂実 (2000) 検出限界・実効感度・定量限界 定量検査における最小測定限界の評価法. Medical Technology, 28:221 224
- 16) 細萱茂実 (2000) 直線性の評価と試料希釈誤差補正法. 検査と技術, 28:131 134
- 17) 細萱茂実 (2000) 測定条件を指定した精密度推定法の意義. 検査と技術, 28:81 85

その他

Other Publications

- 1) 市原清志, 細萱茂実 (2000) 外部精度管理調査結果の分析・評価法の現状とその統一化の方向性. 厚生省科学研究費補助金研究報告書 外部精度管理調査の標準化に関する研究 (H 10 医療 037), 13 32

学会発表

Presentations at Congresses

- 1) Marshall S, Asazuma N, Andrews R, Poole A, Watson S: GPIIb-IX-V does not activate phospholipase C in human platelets. XVth EUROPEAN SYMPOSIUM ON BLOOD PLATELETS, 2000, France.
- 2) Wonerow P, Wilde J, Asazuma N, Watson S: Role of membrane rafts in platelet activation by the collagen receptor GPVI. 3rd UK PLATELET MEETING, 2000, UK.
- 3) 神谷裕子, 相原正男, 長田美智子, 青柳閣郎, 小野智佳子, 山城 大, 畠山和男, 中澤眞平: CBT (自由選択課題) 施行中の経時的脳波パワースペクトル解析. 第30回日本臨床神経生理学会, 2000, 京都.
- 4) 長田美智子, 相原正男, 神谷裕子, 青柳閣郎, 小野智佳子, 山城 大, 尾崎由基男, 畠山和男, 奥

- 山純子, 中澤眞平: 類似選択課題施行中の経時的脳波パワースペクトル解析. 第30回日本臨床神経生理学学会学術大会, 2000, 京都.
- 5) 細萱茂実, 尾崎由基男, 市原清志: 外部精度管理調査への反復切断補正法適用の妥当性. 第47回日本臨床病理学会総会, 2000, 福島.
 - 6) 内藤勝人: 標準化の現状. 第24回日臨技免疫血清検査研究班研修会, 2000, 名古屋.
 - 7) 内藤勝人, 細萱茂実: 新しいコントロールサーベイ法を用いた血清 AFP に関する施設間誤差の解析. 第39回イムノアッセイ研究会, 2000, 静岡.
 - 8) 弓納持勉, 矢富 裕, 石井喜雄, 中澤久美子, 長田 誠, 細萱茂実, 尾崎由基男: 各種組織における paxillin および Hic-5 の発現様式. 第47回日本臨床病理学会, 2000, 郡山.
 - 9) 石井喜雄, 中澤久美子, 弓納持勉, 加藤良平, 須田耕一: 胸水細胞診における E-カドヘリンおよび β -カテニンの発現様式. 第39回日本臨床細胞学会秋期大会, 2000, 大宮.
 - 10) 長田誠, 大森 司, 矢富 裕, 佐藤金夫, 長澤俊郎, 尾崎由基男: 血小板 / 巨核球における Hic-5 の局在の検討. 第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000, 名古屋.
 - 11) 山崎浩和, 細萱茂実, 多田正人, 小池 亨, 尾崎由基男: アルカリ性フォスファターゼアイソエンザイムの自動定量法の試み. 日本臨床化学会関東支部地方会, 2000, 千葉.
 - 12) 細萱茂実, 尾崎由基男: 測定体系における正確さの伝達と精度保証に関する計測論的アプローチ (シンポジウム). 第40回日本臨床化学会年会, 2000, 仙台.
 - 13) 小池 亨, 多田正人, 山崎浩和, 細萱茂実, 尾崎由基男: 腎疾患における血清中総ホモシステイン濃度の評価. 第40回日本臨床化学会, 2000, 仙台.
 - 14) 奥山純子, 長田美智子, 杉山 央, 小森貞嘉: 川崎病発症急性期および慢性期における QT dispersion の推移. 第17回日本心電学会学術集会, 2000, 東京.
 - 15) 山崎浩和, 細萱茂実, 多田正人, 小池 亨, 尾崎由基男: 尿素による阻害効果を利用した骨型 ALP 自動測定法の試み (第2報). 第40回日本臨床化学会年会, 2000, 仙台.
 - 16) 細萱茂実, 多田正人, 山崎浩和, 小池 亨, 雨宮憲彦, 遠藤 武, 矢富 裕, 尾崎由基男: 緊急検査値の分布に基づいた critical value 設定の試み. 日本臨床検査自動化学会第32回大会, 2000, 横浜.
 - 17) 奥山純子, 長田美智子, 杉山 央, 小森貞嘉: 川崎病発症急性期の QT dispersion 冠動脈病変の予測. 第48回日本心臓病学会学術集会, 2000, 大阪.
 - 18) 長田美智子, 相原正男, 奥山純子, 尾崎由基男, 中澤眞平: 高次脳機能と自律神経 Sympathetic skin response (SSR). 第4回日本小児神経学会甲信越地方会, 2000, 山梨.
 - 19) 遠藤真澄, 坂本美穂子, 長田 誠, 細萱茂実, 尾崎由基男: 各種免疫化学自動分析装置による LH, FSH 測定の基礎的検討. 第32回日本臨床検査自動化学会, 2000, 横浜.
 - 20) 山崎浩和, 細萱茂実, 多田正人, 小池 亨, 尾崎由基男: 自動定量法による小腸型 ALP アイソザイム活性の二次性高脂血症における動態. 第32回日本臨床検査自動化学会, 2000, 横浜.
 - 21) 細萱茂実: 日常検査に必要な統計学. 第6回北海道臨床検査技師会精度管理研修会, 2000, 帯広.
 - 22) 大澤 進, 細萱茂実: 定量成分用 (常用) 標準物質の規格. 第20回日本臨床化学会夏期セミナー, 2000, 栃木.
 - 23) 伊藤喜久, 市原清志, 細萱茂実, 大澤 進, 青木芳和: 免疫化学的方法による尿中アルブミン測定 of 標準化. 第20回日本臨床化学会夏期セミナー, 2000, 栃木.
 - 24) 細萱茂実, 多田正人, 山崎浩和, 小池 亨, 尾崎由基男: キャリブレーション及び管理試料の表示値の不確かさ算出のポイント (シンポジウム). 第20回日本臨床化学会夏期セミナー, 2000, 栃木.
 - 25) 小池 亨, 多田正人, 山崎浩和, 細萱茂実, 尾崎由基男: 血中ホモシステインの測定と臨床的意義. 第18回日本臨床化学会甲信越支部総会, 2000, 妙高.
 - 26) 小池 亨: 血清コリンエステラーゼ測定の標準化委員会報告. 第18回日本臨床化学会甲信越支部総会, 2000, 妙高.
 - 27) 内藤勝人: 免疫測定法の問題点とその現状. 第7回関東甲信地区血清検査研修会, 2000, 軽井沢.
 - 28) 泉 慶路, 小林 隆, 細萱茂実: LZ テスト ' 栄研 ' CRP 試薬による施設間差の実態 誤差特性を解明する新しい精度調査. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖繩.

- 29) 細萱茂実, 尾崎由基男, 井野邦英: 精度管理シミュレータの開発. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 30) 細萱茂実, 尾崎由基男: 低濃度域測定値の信頼性と測定限界値の明確化(シンポジウム). 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 31) 長田美智子, 奥山純子, 中澤久美子, 細萱茂実, 尾崎由基男, 相原正男: 前頭部壊死性白質脳症患児のSERPおよびSSRに関する検討. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 32) 多田正人, 山崎浩和, 小池 亨, 細萱茂実: 臨床医へのアンケートによる Critical Value の設定 その6: UN, CRE, TBIL, NH3. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 33) 弓納持勉, 細萱茂実, 石井喜雄, 中澤久美子, 尾崎由基男: 原発性肝癌における低分子ケラチンおよびCD-10の発現様式. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 34) 中澤久美子, 弓納持勉, 石井喜雄, 石井知恵, 加藤良平, 星 和彦, 須田耕一: 卵巣癌におけるp53およびp27の発現について. 第41回日本臨床細胞学会総会, 2000, 東京.
- 35) 雨宮憲彦, 三添亜佐子, 遠藤 武, 遠藤真澄, 小岩井孝夫, 柳 光章, 矢富 裕, 尾崎由基男: 化学療法後の血小板造血回復時における網血小板とトロンボポエチンの推移. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 36) 雨宮憲彦, 遠藤 武, 小岩井孝夫, 細萱茂実, 矢富裕, 尾崎由基男: 自動血液凝固測定装置CA-7000の基礎的検討. 第49回日本臨床衛生検査学会, 2000, 沖縄.
- 37) 長田美智子, 奥山純子, 中澤久美子, 角野敏恵, 杉山 央: 肥満小児の動脈硬化について 血管内皮機能検査による検討. 第11回日本心エコー学会, 2000, 福岡.
- 38) 内藤勝人: 免疫血清検査における精度管理の現状と将来展望. 第15回長野県血清検査研究班研修会, 2000, 諏訪.
- 39) 長田 誠, 大森 司, 矢富 裕, 佐藤金夫, 尾崎由基男: 血小板におけるHic-5のチロシンリン酸化. 第62回日本血液学会, 2000, 福岡.
- 40) 内藤勝人: 免疫血清検査における標準化の現状と将来展望. 東北地区血清検査研究班研修会, 2000, 秋田.
- 41) 雨宮憲彦, 佐藤金夫, 矢富 裕, 尾崎由基男: Sebastian 血小板症候群における血小板形態. 第62回日本血液学会総会, 2000, 福岡.
- 42) 小池 亨, 多田正人, 山崎浩和, 細萱茂実, 尾崎由基男: 透析患者における血清中ホモシステイン濃度の基礎的検討. 第10回生物試料分析科学会, 2000, 大阪.
- 43) 山崎浩和, 細萱茂実, 多田正人, 小池 亨, 尾崎由基男: ロイシンアミノペプチダーゼの基質特異性と電気泳動分画値の関係. 第10回生物試料分析科学会, 2000, 大阪.
- 44) 細萱茂実: 職場でのコンサルテーションの方法と問題点. 日本臨床衛生検査技師会精度管理研修会, 2000, 東京.
- 45) 細萱茂実: 統計的立場から見た標準化と施設間差是正. 中国地区臨床化学研究班研修会, 2000, 広島.
- 46) 多田正人, 山崎浩和, 小池 亨, 細萱茂実: 臨床医へのアンケートによる Critical Value の設定. 第7回関東甲信地区臨床化学研究会, 2000, 神奈川.

手術部

Surgical Center

学術論文

Research Papers

- 1) Tomoki NISHIYAMA, Takeshi YOKOYAMA, Takashi MATSUKAWA, Kazuo HANAOKA (2000) Continuous nicardipine infusion to control blood pressure after evacuation of acute cerebral hemorrhage. CANADIAN JOURNAL OF ANAESTHESIA-JOURNAL CANADIEN D ANESTHESIE, 47(12):1196-1201
- 2) Tokuya HARIOKA, Takashi MATSUKAWA, Makoto OZAKI, Koichiro NOMURA, Tetsuhiko SONE, Masahiro KAKUYAMA, Hiroshi TODA (2000) "Deep-forehead temperature correlates well with blood temperature". CANADIAN JOURNAL OF ANAESTHESIA - JOURNAL CANADIEN D ANESTHESIE, 47(10):980-983
- 3) Tomoki NISHIYAMA, Takashi MATSUKAWA, Kazuo HANAOKA (2000) Is protease inhibitor a choice for the treatment of pre-or-mild disseminated intravascular coagulation?. CRITICAL CARE MEDICINE, 28(5):1419-1422